

写真で語る昔の話

▶問い合わせ 市史編さんG (☎506039)

第20回 『幌別町のアイヌ語地名』

—昭和33年3月25日—



▲アイヌ語地名調査の一場面(左から山田秀三、知里高吉、知里真志保・郷土資料館所蔵)

北海道曹達(ソウダク)の社長であった山田秀三(ヤマダヒデミツ)は、幌別事業所がある登別の地名を由来などとともに残しておきたいとの思いから、登別出身の言語学者である知里真志保(チリマシホ)とともに市内のアイヌ語地名の調査を

行いました。その成果を北海道大学北方文化研究室が発刊していた研究誌『北方文化研究報告』に「幌別町のアイヌ語地名」として発表したのは昭和33年3月25日。知里真志保の父・知里高吉(チリタカキ)や真志保の遠い親戚にあたる板久孫吉(イタコタキ)の案内もあり、205カ所にも及ぶ地名がまとめられ、その解説は地形や植生、信仰など、多岐にわたっています。調査報告は、地名研究だけではなく、アイヌ文化を知る入門編としても高く評価されており、書籍化もされています。

監査結果と措置状況を公表しています

平成30年度定期監査及び財政的援助団体等監査の結果、並びに指摘事項の措置状況報告は、市役所1階市民ロビーと市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

監査執行者 登別市監査委員・石山正志(イシヤママサシ)、木村俊子(キムラトシコ)

執行期間 平成30年9月21日(金)～平成31年1月25日(金)

監査の範囲 平成30年4月から9月までに執行された市の財

務などと平成29年度に執行された財政的援助団体など
問い合わせ 監査委員事務局 (☎9230)

畳の自己搬入方法が変わります

4月1日(月)以降に畳をクリンクルセンターへ直接持ち込む場合は、4分の1以下に切断した上での搬入をお願いします。
※粗大ごみの収集(家庭ごみ)については、切断は不要です。
問い合わせ 環境対策G(クリンクルセンター内・☎29)

地域密着型サービスの公募結果をお知らせします

58
ンクルセンター内・☎29
公募内容 小規模多機能型居宅介護事業所1カ所
選考結果
○整備予定事業者：医療法人社団 協会(アソカ)
○整備予定地(年度)：柏木町4丁目33-9(2020年度)
問い合わせ 高齢・介護G (☎5720)

教えて 水道料金

市は、4月1日(月)に、水道料金の値上げ(平均改定率19.49%)を行います。

そこで、2018年12月号から今号まで、水道料金の改定について、Q&Aで分かりやすくお伝えしています。



2019年の料金改定は理解したけど、今後はどうなるの。また来年値上がりする可能性はあるの。

水道料金を毎年改定することはありません。しかし、水道事業を安定して経営するためには、一定の期間ごとに、料金が適正かどうか検討する必要がありますので、市は、4年ごとに水道料金の見直しを検討することとしています。

※次回の検討は2021年度です。検討の結果、料金改定が必要となった場合は、2023年度に改定が行われることになります。



2019年の料金改定については、広報紙などで聞いていたけど、料金を改定するなら、今後も事前に周知してほしいわ。

今後も、料金改定が必要となった場合は、広報のほりべつや市公式ウェブサイトなどでお知らせするとともに、広く市民の皆さんの意見をお聞きする場を設ける予定です。



市公式ウェブサイトでは、料金の改定が必要となった経緯や改定後の水道料金早見表などを掲載していますので、併せてご覧ください。



▶問い合わせ 水道グループ (☎5501)